

平成 30 年度 一般社団法人清水町ゆうすい未来機構事業報告

1. 実施期間 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

2. 月別実施業務一覧

	実施業務内容
4 月	・ 清水町商工会 H29 業務報告、H30 実施計画報告会（6 日） ・ 社員総会開催（17 日） ・ 創業相談窓口実施（26 日） ・ 観光商品営業活動（26 日）
5 月	・ 創業相談窓口実施（10 日） ・ 社員総会開催（14 日） ・ 観光商品営業活動（15 日） ・ こどもプログラミング講座（20 日） ・ 泉頭城柿田川ウォーキング実施（21 日）
6 月	・ テレビ取材対応（3 日） ・ 定例会実施（18 日） ・ 企業訪問（19 日） ・ 沼津工業高等専門学校VR事業（23 日） ・ 創業相談窓口実施（25 日）
7 月	・ 柿田川VR映像撮影（5、21 日） ・ 沼津工業高等専門学校VR事業説明会（10 日） ・ 企業訪問（31 日）
8 月	・ こどもプログラミング講座（22 日） ・ 定例会実施（24 日） ・ 企業訪問（28 日） ・ 柿田川VR映像撮影（31 日）
9 月	・ 創業相談窓口実施（3、5、11 日） ・ サントムーン「湧水茶会」実施（16、17 日）
10 月	・ 東京パッケージ展視察（5 日） ・ 清水町産業祭出展（8 日） ・ 創業相談窓口実施（11、31 日） ・ 女性限定スタートアップセミナー（18 日） ・ ABCエステート、ゆうすい未来機構相互連携協定締結式（24 日） ・ SNSセミナー（27 日）

11 月	・ SNSセミナー（3、10 日） ・ こどもプログラミング講座（11 日） ・ 創業相談窓口実施（12、26、28 日） ・ サントムーン「VR VIEW SCOPE KAKITAGAWA」実施（17～25 日）
12 月	・ 企業訪問（7 日） ・ 創業相談窓口実施（10、25 日） ・ 沼商屋視察（14 日）
1 月	・ 創業相談窓口実施（8、9、10、18、21、28 日） ・ 東京旅行業協会賀詞交歓会出展（16 日） ・ パン祖パン祭り出展（19、20 日） ・ 企業訪問（31 日）
2 月	・ ノルディックウォーキング実施（9 日） ・ 創業相談窓口実施（13、25 日） ・ スタートアップセミナー（21、28 日）
3 月	・ スタートアップセミナー（7、14 日） ・ 化粧品開発ワークショップ（11 日） ・ 創業相談窓口実施（14 日） ・ 本城山歴史探検ウォーキング（28 日）

3. 実施業務内容

I 観光振興に係る事業

(1) 観光商品販売営業活動

旅行会社に対し、柿田川公園や湧水の道、食事処かわせみ本館等の紹介を行った。繰り返し利用している首都圏のツアー会社は、30 年度も継続的にツアーの中に組み込んでいる。首都圏以外のツアー会社については、湧水の道がリニューアルし、食事場所が新しくなっていることを告知しているので、今後さらに利用されることが見込まれる。

《訪問旅行会社》

・ 4 / 26 神奈川県 11 社

・ 5 / 15 東京 13 社

2 日間 24 社を訪問

(2) 柿田川情報発信事業

●沼津工業高等専門学校連携事業

柿田川の新たな価値の創出、通常入ることのできない川の内部を視聴できる新たな観光素材としての活用を目的に、沼津工業高等専門学校と連携し、柿田川の水中のVR撮影、またVR View Scopeによる一般の方への視聴会を実施した。

外来種駆除作業体験、柿田川について講義

日時：平成30年6月23日

場所：わくら柿田川

毎月実施されている柿田川外来種駆除作業に沼津高専生が参加し、(財)みどりのトラストの漆畑会長より、外来種と在来種の違いや柿田川の美しい自然環境保護のための取り組みなどを学び、実際に柿田川に入り、オオカワジシャ等の外来種の駆除作業を行った。

その後、わくら柿田川にて清水町の紹介や柿田川の成り立ち、柿田川と住民との関わり(歴史)などを学ぶ講義を行った。沼津高専生に今後、柿田川を更に多くの人々に発信できるよう、VR等を活用した情報発信の協力依頼を行った。



株式会社 eje によるVR技術についての講義

日時：平成30年7月10日

場所：沼津工業高等専門学校

沼津工業高等専門学校の学生に向け、VR映像制作を手掛ける株式会社 eje による、VR技術の講義を行った。将来、VR映像がどのように発展していくのか、またVR技術の将来的な展望などを伝えた。現在あるVRの技術を将来をにう学生たちに様々な発想で発展させてほしいという願いを込めた。



柿田川撮影実施（1回目）

日時：平成 30 年 7 月 21 日

場所：わくら柿田川、柿田川公園

株式会社 eje の方々を招き、VR 映像撮影用のカメラの使い方や VR 映像の加工方法を学んだ後、実際に柿田川の撮影を行った。





柿田川撮影実施（2回目）

日時：平成 30 年 8 月 31 日

場所：柿田川公園

柿田川に入り、柿田川の水中映像の撮影を実施した。



「VR VIEW SCOPE KAKITAGAWA」実施

日時：平成 30 年 11 月 17 日～25 日

場所：サントムーン柿田川

サントムーン柿田川館内で、「VR VIEW SCOPE KAKITAGAWA」を実施した。17 日には沼津高専の生徒の取り組みについて静岡新聞社の取材を受けた。また同日に開催されたラッキーフェスタでは、ステージにあがりイベントのPRを行った。



●清水町歴史探検ウォーキング

清水町の魅力発信、また新たな観光素材の醸成を目的に歴史・文化を学ぶための歴史探検ウォークを開催した。

「泉頭城柿田川ウォーキング」実施

日時：平成 30 年 5 月 21 日

場所：柿田川公園

参加者：22 名

紅龍（清水町新宿）の鈴木氏を講師に招き、戦国時代に柿田川公園に築城された泉頭城の城跡を見学するウォーキングツアーを開催した。静岡新聞社、NHKなどのメディアにも取り上げられた。



「本城山歴史探検ウォーキング」実施

日時：平成 31 年 3 月 28 日

場所：清水町防災センター

参加者：10 名

紅龍（清水町新宿）の鈴木氏を講師に招き、戦国時代に本城山に築城された戸倉城の城跡を見学するウォーキングツアーを開催した。当日は雨天のため、清水町防災センターに会場を変更し、資料や動画、写真等を参考にしながら戸倉城の歴史的背景等を学んだ。



(3) イベント出展

●「東京旅行業協会賀詞交歓会」出展

日時：平成 31 年 1 月 16 日

場所：ヒルトン東京

東京の旅行業者約 200 社が参加する賀詞交歓会で清水町のブースを出展し、柿田川に関するパンフレットの配架を行った。また、カメヤ食品の亀谷専務も同行し、湧水の道や食事処かわせみ本館の案内も実施した。



●「パン祖パン祭り」出展

日時：平成 31 年 1 月 19 日、20 日

場所：菫山時代劇場

県内外のパン屋が出展するイベントに清水町のPRをするため出展した。ブースでは、栗原商店のチョコろてんの販売、田方農業高等学校の生徒と連携し、柿田川クレソンピザの試作を行った。また、屋内ではジオパークの展示ブースを設け、柿田川の資料やVR映像の視聴を行った。



(4) 地域連携事業

●「湧水茶会」の開催

日時：平成 30 年 9 月 16 日、17 日

場所：サントムーン柿田川

清水町の新たな伝統、文化の醸成を図るための柿田川の湧水を使用した抹茶を振る舞う茶会を開催した。サントムーン柿田川内のセントラルコートに茶室を建て、田方農業高等学校の生徒や茶道の先生がお茶をたて、一般客に振る舞った。



●「三島市・清水町ノルディックウォーキング」の開催

日時：平成 31 年 1 月 9 日

場所：三島市、清水町

参加者：15 名（清水町）

静岡中央銀行、三島市、清水町と連携しノルディックウォーキングイベントを開催した。楽寿園（三島市）から柿田川公園までのノルディックコースに丸池・鈴木農園・教材園を組み込み、清水町のPRを行った。後日参加者には清水町こだわりの逸品詰め合わせを贈呈した。



Ⅱ 産業振興に係る事業

(1) 創業支援事業

●創業相談窓口運営事業

三島信用金庫と連携し、創業・起業希望者に対する個別相談窓口を開設した。

相談件数：28 件 創業者数：4 件

●ビジネスセミナーの実施

創業支援認定計画に基づき、経営・財務・人材育成・販路開拓についての基礎知識を習得すること、また創業・起業機運の醸成を図ることを目的に、創業・起業希望者を対象としたスタートアップセミナーを実施した。

女性限定スタートアップセミナー

日時：平成 30 年 10 月 18 日

場所：ゆめくる一む（清水町徳倉）

講師：有限会社エス． 代表取締役 曽根原容子

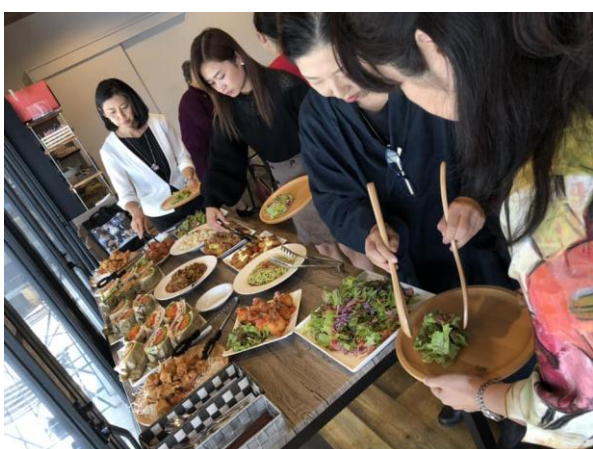
自然療法サロン ミモザ 代表 新田はるみ

Mother earth 代表 平山早苗

しろくまジャム 代表 武馬千恵

参加者：10 名

男女共同参画事業の一環として、参加者を女性に限定したスタートアップセミナーを実施した。女性の先輩起業家を講師に迎え、実際の起業までの体験談や女性ならではの課題などをディスカッション形式で伝えた。講義の後半は、有限会社エス．の曽根原氏による講義を行い、女性が起業することに対する意識や注意点等について語った。セミナー後は、懇親会を行い、講師と参加者同士の交流を図った。



SNSマーケティング活用講座

創業・起業希望者を対象に、ビジネスへのSNS活用方法を学ぶビジネスセミナーを実施した。講座では、起業までの準備から資金調達等の基礎的な知識やSNSを活用した販路開拓、プロモーションの方法等を学んだ。第3回目の講義ではプロカメラマンを講師に招いて、実際にカメラを持ち光の当て方や被写体の向き等の撮影テクニックを学びながら商品などを実際に撮影した。

月日	場所	講義テーマ	講師	参加者
10/27	わくら柿田川	スタートアップも前に学んでおく！ 「マーケティング基礎」	(株) 集客デザイン研究所 代表取締役 増田隼人	12名
11/3	わくら柿田川	スタートアップ時にお客さん呼び込む！ 「プロモーション基礎、SNS利活用」	(株) 集客デザイン研究所 代表取締役 増田隼人	10名
11/10	自由人 (清水町長沢)	スタートアップしたら、フル活用する！ 「フォトジェニック撮影テクニック」	ふおとみん 代表 古根村美智代	10名



スタートアップセミナー

創業・起業希望者を対象に経営・財務・人材育成・販路開拓の知識を習得するためのスタートアップセミナーを実施した。実際に起業を経験している先輩起業家を講師に招き、自身の経験をもとに起業のメリットやヒントを学んだ。また、経理や財務などの専門的な知識や情報発信、販路開拓等における動画メディアの役割や今後の可能性についての講義を行った。

月日	場所	講義テーマ	講師	参加者
2/21	清水町役場	「事業で起きたお金にまつわるいろいろな事例」で起業のヒントを学ぶ	小松公認会計士事務所 代表 小松秀一郎	3名
2/28	清水町役場	「異業種から飲食業界への挑戦で起きたこと」で起業のヒントを学ぶ	(株) ドリームファーム 代表 吉田清治	6名
3/7	清水町役場	「場づくりを通して見えたヒトの重要性」で起業のヒントを学ぶ	(株) ファイアーブレイス 代表 渡邊知	6名
3/14	清水町役場	「動画メディアの役割とこれからの可能性」で起業のヒントを学ぶ	(株) 田方映像 代表 水品一彦	6名





(2) 創業機運醸成事業

●わくわく未来塾「こどもプログラミング講座」

地域の未来を担う若年層に対し、創業の基礎知識習得や起業家との交流の機会を与えることで創業機運の醸成を図ることを目的にわくわく未来塾を実施した。今後の社会情勢やビジネスシーンでのIT人材の必要性はますます高まり、日本の産業成長にとって重要であることから、昨年度に引き続きプログラミング講座を行った。

なお、この取り組みは経済産業省のホームページ創業機運醸成の取り組み事例集に紹介された。

月日	場所	講義テーマ	講師	参加者
5/20	南小学校	Scratch を使ってゲームをつくろう！	(株) まえびー 代表 前橋将彰	15 名
8/22	西小学校	Scratch を使ってゲームをつくろう！	(株) まえびー 代表 前橋将彰	11 名
11/11	清水小学校	Scratch を使ってゲームをつくろう！	(株) まえびー 代表 前橋将彰	15 名



静岡県清水町

清水町ゆうすい未来機構
～見つけたい！こどもの未来と可能性！～

【取組名】 わくわく未来塾「こどもプログラミング講座」

【取組内容】
1. 団体概要
一般社団法人清水町ゆうすい未来機構とは、町内唯一の特定創業支援認定機関であり、町や商工会、地域金融機関などと連携し、創業・起業希望者のワンストップ相談窓口などを行う機関です。
また、地元の高校生や子どもたちを対象とした創業機運醸成に関する事業を展開しています。

2. 事業内容
わくわく未来塾では、子どもたちを対象に様々な職業を体験してもらい、職業観や勤労観の育成、また自分の好きなことの発見や将来に向けた創業機運の醸成につながる事業を行っています。
わくわく未来塾の核となる事業として、毎年3回程度、小学4年生から6年生の子どもを対象とした「こどもプログラミング講座」を行っています。
プログラミング学習を行うことで問題解決能力や論理的思考能力、また自由な発想力を身につけることを目的に、多くの子どもたちにプログラミングの楽しさやIT技術の将来の展望などを伝えています。

【特徴・工夫点】
初めてプログラミングに触れる子どもにも楽しめるよう、初心者向けのプログラミングソフト「Scratch」を活用してオリジナルのゲームの作成などを行っています。
講師にはアプリ開発等を手掛ける地元企業の方を招きプログラミングの基礎や楽しさを伝えています。また、サポート役としてIT関連企業で活躍している方々にも参加してもらい、子どもたち1人1人に丁寧な指導を行う体制を整えています。
また、子ども達の講義中には保護者説明会も同時に行い、子ども達の好きなことを伸ばしていくことの大切さや、今後のプログラミング教育の重要性などを伝えています。

【取組の様子、結果、今後の展開など】
平成29年から実施している本事業には毎回多くの参加者が集まり、子どもたちは、将来ゲームを作りたい！プログラマーを目指したい！などプログラミングに大変興味を持っている様です。また、保護者の方々からも「子どもがプログラミングに興味を持ったようで家でパソコンに触れています。」「今までは、パソコンばかり！と思っていたけど好きならことんやらせてもらおうと思います。」などの意見が寄せられています。
今後、プログラミングを使い、町の観光アプリの開発など目に見える形での成果を作っていく事業展開を検討しています。

「平成30年度実績」

第1回	5月20日	参加者：15名
第2回	8月22日	参加者：10名
第3回	11月11日	参加者：15名

講座の様子

保護者説明会の様子

チラシ

【本取組の問い合わせ先】
一般社団法人清水町ゆうすい未来機構
TEL：055-975-7155 E-mail：s.wakura@ca.wakwak.com

←経済産業省HP掲載

(3) 地域連携事業

●「清水町産業祭」出展

日時：平成30年10月8日

場所：清水町総合運動公園

地域住民に清水町の企業を知ってもらうためのイベント「清水町産業祭」に出展した。ブースでは、ゆうすい未来機構の紹介やスタートアップセミナーのチラシなどを配架したほか、サントムーンと連携し、スタンプラリーを行い、産業祭会場で景品の引き渡しを行った。



●ABC エステート、ゆうすい未来機構相互連携協定締結式

日時：平成30年10月24日

場所：わくら柿田川

町に新たな創業・起業者を呼び込むためのコワーキングスペースを建設し、場の提供を行うため、また不動産情報の提供などの連携を強化し、地域経済の活性化を図ることを目的に、ABC エステート有限会社と相互連携協定を締結した。



プログラミング講座参加児童募集 清水町「未来機構」

清水町ゆうすい未来機構は、5月20日午前9時半から町立清水南小で行う児童対象の「わくわく未来塾」プログラミング講座の参加者を募集している。対象は小学4～6年生。パソコンでアプリを使用し、簡単なゲームのプログラミングに挑戦する。定員15人。参加無料。問い合わせ、申し込みは同機構へ電055(975)7155Vへ。

H30.4.17 静岡新聞

歴史探検ウォーキング 14日まで参加募る

清水町 清水町ゆうすい未来機構は21日午前10時から、歩きながら地域の歴史を学ぶ「柿田川の歴史を学ぶ」柿田川

歴史探検ウォーキングを同町伏見の柿田川公園で開く。14日まで参加者を募集している。

郷土史に詳しい同町の鈴木晟冠さんが講師を務め、徳川家康が隠居の地として選ぼうとしたとされる同公園内の「泉頭城」について解説する。

参加無料。定員10人。希望者は電話で申し込み。問い合わせは同機構へ電055(975)7155Vへ。

H30.5.9 静岡新聞



鈴木さん（右）が「泉頭城」について説明した歴史探検ウォーキング＝清水町の柿田川公園

「泉頭城」の歴史学ぶ

清水町で探検ウォーキング

清水町ゆうすい未来機構は21日、「柿田川」を同町伏見の柿田川公園周辺で行った。県東部の約20人が参加し、徳川家康が隠居場所を選ぼうとしたとされる「泉頭城」について学んだ。泉頭城は現在の同公園にかつてあり、戦国

案内役を務めた町内の歴史愛好家鈴木晟冠（あきかつ）さんは縄張り図を参考にしながら「川沿いから来るかもしれない敵を想定し、地形を利用して防衛用の曲輪（くるわ）を造ったなど」を解説した。

H30.5.24 静岡新聞

柿田川の魅力 VR化へ



柿田川の水中撮影に取り組む沼津高専生ら＝清水町

清水町、沼津高専生ら

富士山周辺の雪解け水の湧水で知られる柿田川の魅力をバーチャル・リアリティ（VR）化する試みが、清水町で始まっている。同町と

19年以降 四季折々の映像放映

沼津高専（沼津市大田）の学生、町の産業観光振興を図るゆすい未来機構が共同で取り組む。約1年かけて四季折々の映像を撮りため、2019年以降に観光案内所などで放映し、観光客に提供することを目指す。観光客や町民に魅力を発信する。

撮影の主体は高専。たのは、17年に課題研究で柿田川や柿田川公園第2展望台の水の中を撮影している。今夏の撮影では高専生約20人がグループに分かれ、カメラを肩に川に入った。砂を巻き上げて水が濁り出たり、透明な水に光が差し込んだりする様子などを収めた。季節ごとに更新する水中映像の撮影、編集を続けていく。

高専生が町の映像製作に関わるようになった。

町の魅力を紹介する研究の成果を町に報告し、たのがきっかけ。映像製作にあたっては、製作会社の担当者が映像を撮影し、VR化する技術を講義形式で高専生に教える。清水町出身で電気工学科5年の野田礼華さんは「川の中は透き通る。上から見たら、VR化を通じて本音が伝わる。映像は難しいが、（東部地区・大田地区）の魅力を伝えるには、秋には映像の一部を公開し、完成後は町観光協会が運営する観光案内所や観光客の目撃情報や、女性向けのスタートアップセミナーを同町徳倉のゆめくるーむで開く。

起業目指す女性対象にセミナー
18日に清水町
清水町と町ゆすい未来機構は18日午前10時から、起業を目指す女性向けのスタートアップセミナーを同町徳倉のゆめくるーむで開く。

エスデサロンや食品販売などの代表4人が講師を務め、起業の決意やビジネスプランの考え方について講演する。定員15人。受講料千円。希望者は11日までに、ファクスかメールで申し込む。問い合わせは同機構へ電055(975)7155へ。

H30. 9. 19 静岡新聞

H30. 10. 10 静岡新聞

受講生を募集している。

講座は全3回。マーケティングやプロモーションの基礎、目を引く写真の撮り方などを専門家が伝授する。第2回は11月3日午前10時から、第3回は同10日午後2時から。受講費は4千円。スマートフォンやタブレットなどを使用する。申し込み、問い合わせは同機構へ電055(975)7155へ。

マーケティングやSNS活用講座

27日から清水町

清水町ゆすい未来機構は27日午前10時から、起業を目指す人を対象にしたマーケティング・SNS活用講座を同町伏見のわくら柿田川で開く。20日まで

H30.10.13 静岡新聞



清水町 起業目指す女性、心構え学ぶ

清水町と町ゆうすい未来機構は18日、起業を成功させたい女性を対象にしたセミナー「Woman's cafe」を同町内で開いた＝写真＝。同町を中心に約15人が参加した。

ジャムやアロマの製造販売、自然療法サロン、エステサロンを展開する4人の女性経営者が講師を務めた。講師は参加者の質問にそれぞれ回答し、起業の心構えを語った。

「長く愛されるお店づくりの工夫は」との質問には「フェイスブックを使って活動を知ってもらう」「リピーターを増やすため、お礼の手紙を書いている」などと答え、SNS（会員制

交流サイト）の利用や、コミュニケーションの重要性を説明した。

H30.10.20 静岡新聞

清水町ゆすい未来
機構はこのほど、起業
をを目指す人向けのマー
ケティング・会員制交
流サイト(SNS)活用
講座を町内で開いた。

SNS映え写真練習

清水町 起業希望者向けに講座



SNSで使用する写真の撮り方を学ぶ参加者ら

＝清水町

同町出身のプロモーションコンサルタント増田隼人さんと伊豆の国市のフォトグラファ―古根村美智代さんが講師を務め、事業を広報するためのSNS活用方法を伝授した。

古根村さんは「みんなの目に留まるようなフォトジェニックな写真が重要」として、スマートフォンやタブレット、一眼レフカメラを使った撮影方法を説明した。参加者は食品や花などを被写体に、撮影の練習を行った。

増田さんはインスタグラムやフェイスブックを駆使し、コストをかけずにPRする重要性を強調した。

H30.11.15 静岡新聞

柿田川の湧水で化粧水

清水 官民連携で開発



試作品を試しながら話し合う関係者ら（清水町ゆすい未来機構提供）

清水町が設立した官民連携組織「清水町ゆすい未来機構」が、名水として知られる柿田川湧水を使った化粧品を開発している。富士山の恵みである湧水を全国に発信するのが目的で、機構では、年末頃の発売を目指すという。

柿田川の水は、富士山に

機構は、地域の産業振興や観光振興などを推進する組織として2017年5月に設立された。柿田川のブランドイメージづくりに特に力を入れており、女性の情報発信力に期待して、化粧水を開発することにした。

商品名は、「柿田川富士山百年化粧水」（仮称）だ。湧水が富士山から100年の歳月をかけて地表に現れると言われているためだ。

11日には、美容業界の関係者ら12人のモニターによるワークショップを開催。化粧水のサンプルを2週間試してもらい、次回の会で感想を聞く。大手化粧品メーカーからも情報収集し、化粧水の中身やボトルのデザインなどを決めていくという。

機構の担当者は、「霊峰からの伏流水は日本の象徴でもあるが、それをまだ活用しきれていないのが実情。化粧水の開発をきっかけに、ブランドマーケティングを推進していきたい」と話している。

問い合わせは、機構（055・975・7155）へ。

H31.3.26 読売新聞